

事業別の概況

■売上概況

●電池事業

アルカリ乾電池は、市場低迷に加え、中国製品等の流入により競争激化が続くなか、新規顧客の獲得に注力するとともに、海外市場の開拓に努めた結果、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、工業用途向け等が伸長し、前年同期を上回りました。リチウム電池は、国内外の防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

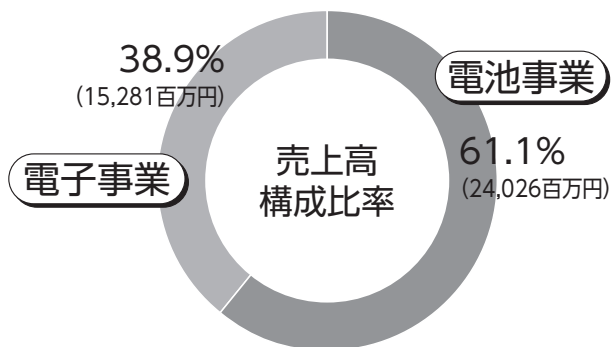
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ21億81百万円増加の240億26百万円となりました。

●電子事業

コイルデバイスは、山陽工場における高性能品の開発効果もありハイブリッド車向けが堅調に推移したものの、民生用電子機器向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。DC-DCコンバータは、サーバ・ストレージ向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。積層チップパワーインダクタおよび高周波積層部品は、スマートフォン向けが好調に推移し、前年同期を上回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、タブレット端末用途ならびに中国市場での大型液晶TV用途が好調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ20億17百万円増加の152億81百万円となりました。

■売上高構成比率



■売上高

